

燕ろうさいつうしん

病院の基本方針

- ◎安全で質の高い医療の提供を目ざします。
- ◎勤労者の健康管理を支援します。
- ◎医療に関する教育・研修を支援します。
- ◎健康を守り福祉を大切にします。

目次:

*特殊疾患入院医療管理料算定病床について	1
*お知らせ:栄養管理室より	2
*職員紹介:糖尿病看護認定看護師の活動について	3
*編集部より	3
*外来診療科別担当医師表	4

【特殊疾患入院医療管理料算定病床について】

燕労災病院 神経内科 菊川公紀

このたび、燕労災病院神経内科では、神経難病の患者様を対象に、「特殊疾患入院医療管理料算定病床」を導入することとなりました。正式には6月にオープンする予定です。



この「特殊疾患入院医療管理料算定病床」は、いわゆる神経難病の患者様で、人工呼吸器を装着している方を対象に、ご希望がある限り当科に入院の上療養を続けていただく病床です。急性期の疾患を中心に治療する病院で、このようなシステムを導入したのは、神経内科では当院が最初であると自負しております。

これまで当科は、神経難病の患者様のレスパイト入院や訪問診療を行って、少しでも地域医療に貢献できるように努力してきましたが、まだまだ不十分な点が多く、課題は山積しております。今回開設する「特殊疾患入院医療管理料算定病床」は、主に筋萎縮性側索硬化（ALS）、多系統萎縮症（MSA）、パーキンソン関連疾患などの難治性神経疾患で、その病気による呼吸障害のために人工呼吸器をつけて、ほぼ臥床状態の患者様を対象に、男性4床、女性4床、計8床の病床で、長期にわたり神経内科の専門医による専門的な医療を提供することを目的としたものです。

私が、このようなシステムを立ち上げようと考えた理由は、
①この県央地域には、厚生労働省が認定した特定疾患である神経難病の患者様が350人以上いること。
②その多くの患者様は、在宅療養を続けていますが、経過によって人工呼吸器を装着して、在宅療養が困難な患者様も少なからず認められ、それらの患者様は、この地域には受け入れ可能な病院がなく、他の地域にある慢性期の神経疾患をみる病院でさえも、受け入れられない状態であること。
③予てから私自身にこの地域の患者様はこの地域の病院で何とかしたいという希望があり、神経内科的疾患で入院可能な病院は当院しかないため、当院でそのような患者様を積極的に受け入れて地域医療にも貢献したいという思いがあったこと、などが挙げられます。

私は、医師としてまだ経験が浅かった時期に、秋田赤十字病院に2年間勤務しましたが、そこには脳卒中などの急性期の患者様が入院する一般病床の他に、神経病センターという施設があり、神経難病の長期療養が可能でした。その神経病センターでたくさんの神経難病患者様と出会

い、治療自体の困難さ、病状が進行していく中でいかに症状を緩和していくか、などの治療面の問題に戸惑いながら、同時に患者様が抱えている様々な社会的問題にも直面して、このような患者様に対して神経内科医に何ができるのかを真剣に考えさせられました。

さらに、神経内科は地域医療にどのように貢献できるのかということについても、ひとつの形として見せてもらえたと考えています。それから15年以上が経ち、私も多くの経験を積んできました。今回設置する「特殊疾患入院医療管理料算定病床」は、病床数もまだまだ少なく、決して十分なものとは言えませんが、この病床を通して、私がこれまで学んできた神経学やこれまで積んできた経験のすべてを活用して、患者様の診療に全力であたり、地域医療にも貢献できるように努力したいと思います。

【お知らせ】 栄養管理室より

栄養管理室では、各医院から栄養指導や糖尿病教室の参加を受け入れております。

ご予約方法などは、下記をご覧ください。

受診者の生活習慣に沿った栄養指導を行ってまいりますので、ご紹介宜しく願いいたします。

① 地域医療連携室 へ連絡

『診療情報提供書』にて、指導内容をご連絡下さい。

予約日時など、地域医療連携室からF a xにてご連絡いたします。

② 当日 医事課受付へ

受診者の方は、医事課受付へおいで下さい。

担当者が、栄養指導室までご案内いたします。

・受診者により指導時間は、異なります。(30～60分間)

・料金は、当日徴収いたします。【実費 ¥1,365 (税込)】

後日、指導報告書を地域医療連携室から発送いたします。

糖尿病教室 毎月開催

・予約方法は、上記同様『地域医療連携室』へお願いいたします。

・当日、受診者の方は内科外来受付にお越し下さい。

担当者が、教室会場までご案内いたします。

・料金は、当日徴収いたします。【実費 ¥840 (税込)】

開催予定日時：13時30分～

平成22年 5月17日 } (第3月曜日)

6月21日 }

7月12日 (第2月曜日)

8月 **お休み**

9月13日 (第2月曜日)

※ 都合により変更となる場合がございます。

【職員紹介】 糖尿病看護認定看護師としての活動

本宮みどり

皆さん、こんにちは！！**糖尿病看護認定看護師の本宮みどりです。****私は、平成21年6月に日本看護協会より認定資格を得ました。
今回、私の主な活動について紹介させていただきます。****糖尿病看護認定看護師の仕事とは？**

糖尿病を患う人を深く理解し、的確なアドバイスとニーズに応じた情報提供により、その人がその人らしく生活できるよう支援をすることです。また、糖尿病看護の質の向上を目指して、他の看護師の教育や相談活動を展開しています。

現在、新潟県内では私を含め6名の糖尿病看護認定看護師がおり、それぞれの職場で活躍しています。

【活動内容】

- ✿ 内科病棟に所属し、他の看護師と協働しながら、血糖値のコントロールや教育目的で入院した糖尿病患者様の支援を行っています。
- ✿ 日本糖尿病療養指導士の資格を有する院内のスタッフと糖尿病療養指導チームを結成して、糖尿病教室を開催しています。
- ✿ 当院に外来通院している糖尿病患者様を対象に、フットケアの支援を行っています。
- ✿ 院内職員を対象とする研修会を開き、糖尿病看護に関する講義を行っています。

・・・今後、県央地区にお住まいの方々や医療関係者への活動もどんどん展開していきたいと考えています。皆さん、気軽に声をかけてください！！

糖尿病を発症する人は年々増えており、合併症が出現し、日常生活に困難をきたしている方々が、皆さんの身近に大勢いらっしゃいます。糖尿病を患う人々が、その人らしく健やかに生活できるようこれからも支援していきたいと思えます。

【編集部より】

4月になったというのに、毎日寒い日が続いていますね。気分だけでも春にしたいと、寒くても「春の装い」を心がけていました。やっと桜が満開となり、季節が追い付いてきました。気温差がまだまだ激しいので、体調には十分注意しましょう。（記：田村）

